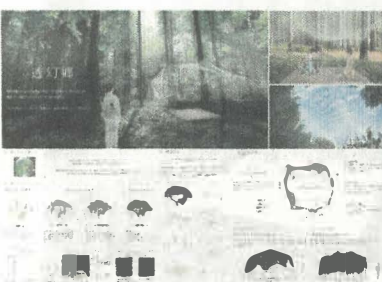

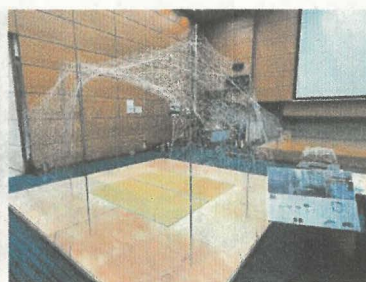


「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

企画名	建築文化週間 学生グランプリ 2023 銀茶会の茶席「透幻郷」	
実施日	令和 5 年 7 月 1 日 (土) ~ 令和 5 年 10 月 30 日 (月)	
実施場所	2 次審査：日本建築学会 建築会館ホール 銀茶会展示：銀座三越 9 階 銀座テラス・テラスコート	
企画代表者の氏名, 所属	氏名：山田 誠人 所属：先進理工系科学研究科 建築学プログラム 建築設計学研究室	
構成員の氏名	岡本 一希、岡崎 友洋、松岡 達哉、隠崎 嶺 大呂 直樹、塚村 遼也、谷 卓思 ※下段 3 名は 1 次審査後、1/1 模型制作の応援要員として追加	
指導的立場の教員氏名	中藪 哲也・准教授・大学院先進理工系科学研究科・先進理工系科学専攻 	
企画の目的及び内容	「建築文化週間学生グランプリ 2023 銀茶会の茶席」は銀茶会での展示・使用を目的とした創作茶室の募集を行うことで、茶の文化の発展と学生の実施設計を通して建築に対する新たな発見を促進する学生向けコンペである。この企画は日本建築学会が主催のグランプリであり、入選した場合には 1/1 スケールで制作したものを審査していただける点から、学生にとっては貴重な体験であり建築への理解を深める上でも意義があるため参加している。	
来場者数	公開 2 次審査 (10/1)：約 20 人、銀茶会 (10/28, 29)：約 330 人	
主催・後援団体 (外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模)	主催：日本建築学会 共催：銀座通連合会 規模：銀茶会は 2023 年で 21 回を迎え、毎年全国の大学・短大・高専から約 60 作品の応募があり、上位 2~4 作品が 1/1 模型を作成し、最優秀作品が銀茶会にて展示・使用される。	
活動の内容 (準備, 広報活動, 当日の様子等)	○1 次審査：今年の銀茶会「楽」のテーマに対してアイデアを出し、A2 サイズの提案書と 1/10 模型を制作して提出。結果上位 4 作品に選出され、2 次審査での 1/1 模型制作が決定。 ○2 次審査：審査員の方々に指摘を受けながら約 1 か月をかけて 1/1 模型の作成を行った。2 次審査が行われる前日に東京へ制作物を運び、設営。当日は公開で審査会が行われ、審査員の方々にプレゼンテーションを行い、1/1 模型を囲みながら意匠、構造、茶道等様々な観点からの意見をいただいた。審査の結果最優秀賞を受賞、10/29 銀茶会での制作が決定。 ○銀茶会：2 次審査会でいただいた意見をもとに、さらに詳細をブラッシュアップし実際に使用する作品を制作した。10/25(水)に現地で組み立て、10/26(木)~10/30(月)の期間中展示。10/28(土)と 10/29(日)には茶会が開かれ、作品内部で実際にお茶が振る舞われた。	
		
1 次審査 A2 提案書	1 次審査 1/10 模型	2 次審査 1/1 模型

(裏面に続く)

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

(裏面)

アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

アンケートは実施していない。

成果・課題

「学生グランプリ 2023 銀茶会の茶席」において2次審査に進出、1/1 模型を制作することで実物大の建築を自立させること、詳細を計画することの難しさを体験した。また昨年度に続いて今年度も最優秀賞を受賞することができた。銀茶会コンペに参加することで得られる建築学習効果・大会成績の双方ともに十分な成果が得られたのではないだろうか。

2次審査の後、審査員の先生方から実際にお茶会で使用するにあたって意匠、構造、安全上の配慮の他、茶道の在り方に関するご指摘を多数いただいた。最優秀賞を受賞した一方で、建築としての美しさや面白さを求めるだけでなく、実際に使用する方々の立場や考えを知り、そこに寄り添っていくことが今後設計活動を行う上での課題として挙げられる。

銀茶会では作品の運搬から設営、茶会実施、解体を大きな問題なく完遂できており、現場での細かな変更事項にも対応した。

実施風景 (写真)



2次審査会 審査風景



2次審査会 終了後撮影



銀茶会 作品設営風景①



2次審査 1/1 模型設営風景②



銀茶会 実施風景①



銀茶会 実施風景②

【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。

(> 封コ)面 E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学系総括支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)